

HAWAII NEWSLETTER

PACIFIC ISLAND OCEAN EXPLORATION CENTER

ISSUE 4 | 07/29/2025



海洋保全について学ぶ

今日のメインはHPUキャンパス内にあるパシフィック・アイランド・オーシャン・エクスプロレーション・センターで海洋保全について学ぶことにあります。ハワイにとって海はとても大切なもので、海の生き物と共にいかに護っていくか、今何が問題かを学びます。

海洋ゴミ (marine debris) の問題が主な話題となります。

ハワイの海洋保全

1時間目

2 限目のPIOEC見学のための事前学習。いくつかのハワイ語や Marine Lifeに関する単語、知識を学びます。

2時間目

実際にPIOECで担当の方の説明を聞きます。その上で3つの問いについて考えます。

3時間目

2時間目の学習を振り返って、今日学んだこと、海を大切にすることなどについて、自分の意見を書きます。

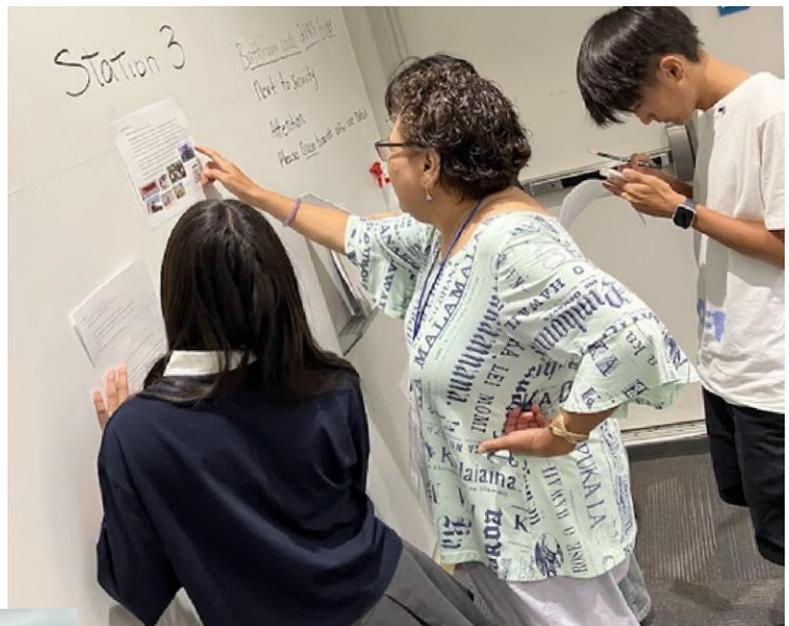
ハワイではセレモニーや神聖な儀式の始まりに「ほら貝」を吹くという説明の時に、間髪入れずに「日本でも戦の始まりで吹きます」と発言する。素晴らしい！自然を大切にする考え方から共通点がありそうですね。



Mrs. Kの授業を参観していて改めて気づいたことは、先生の声量はとても大事だということ。声量の大きさや抑揚で授業のリズムや雰囲気を作ります。Mrs. Kの声はとても聴きやすく自然に耳に入ってきます。

▲この2人のリアクションがとてもいい。授業は先生と生徒で作っていくもの、という視点があると、積極的に参加することは自分のため、みんなのためになります。

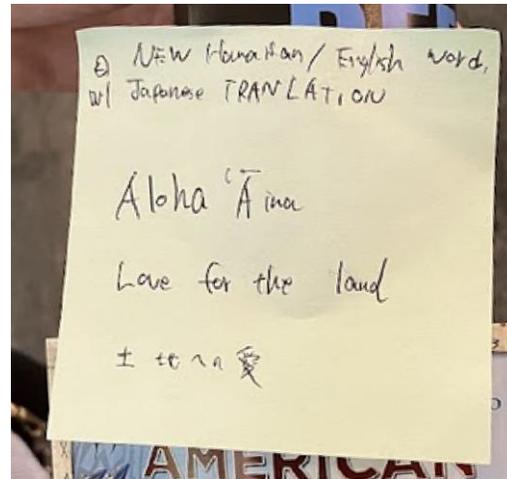
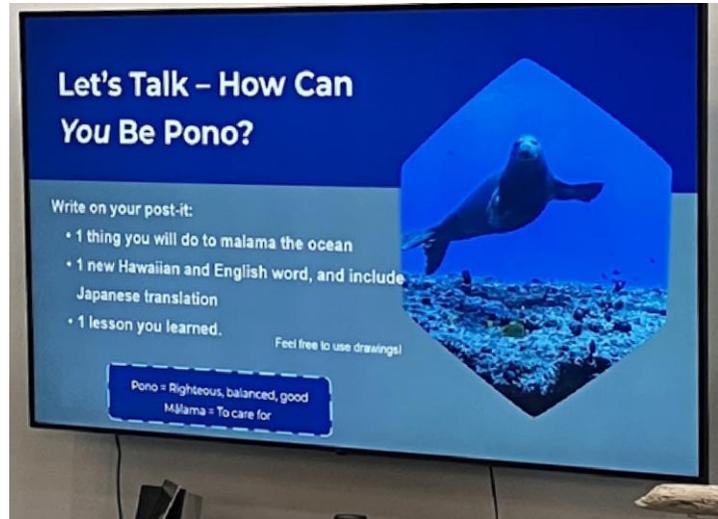
HPUの言語学習環境が面白いのは、いわゆる「ネイティブ」以外の流暢な英語が聞けること。Dr. EricやMr. Wilson、Mrs. Kはアメリカ人ですが、Mrs. Kはハワイアンでもあるので、ハワイアンアクセントです。彼ら以外にもDr. Levyはドイツ人、Ms. Anaisはフランス人です。今後の世界はますます「ネイティブ」の定義が揺らぎます。様々な英語を体験しておくことは重要になります。



一方で、「先生」の英語を聞くだけでもいけません。2限にPIOECの説明を聞いた時、やはり語学の先生方とそうでない人の話し方が違うことに気づきました。省略する音、速さ、間の取り方が違います。学校の授業での英語をきちんと理解しながら、YouTubeなどでもいろいろな人の英語を聞くことが、Listening 上達の秘訣だと思います。(Readingの能力も大切です。)

海洋保全についての説明を受けた後、

- ①海を大切にするためにすること、
 - ②ハワイ語と英語を見る合わせた新しい言葉、③このレッスンで学んだこと、
- をそれぞれ考え、ポストイットに書きました。その中でスタッフに選ばれ表彰された彼女。問の②に対する解答が評価されたようです。



Aloha 'Āina (Love for the land) 土地への愛

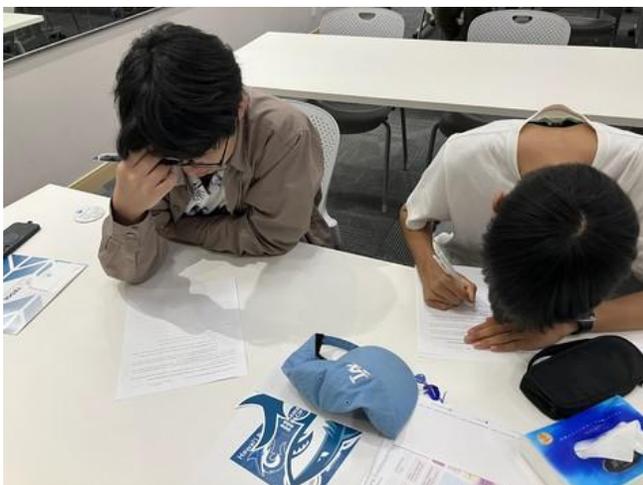
活動の間で、缶バッジの作成もありました。こっちの方が生徒たちは熱心だったかも？！





リフレクション

3限は学んだことを書くwritingです。先生によってアプローチは違いましたが、振り返りができていることを期待します。



自由ランチをはさんで午後はConversation活動です。英語でどんどん質問をして短いやり取りをするのが目的です。



突然の雨に打たれましたが、止むと青い空に虹が。Rainbow Stateと言われるだけあり、雨上がりは虹がよくみられます。明日は小旅行があります。こちらも安全第一で行ってまいります。

